

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	リハビリテーション医学 1
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	学校協会指定教科書 医歯薬出版 リハビリテーション医学				
担当教員情報					
担当教員	鈴木 哲郎		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
鍼灸師として必要なリハビリテーションの知識、方法について学ぶ。現在では広い意味でのリハビリテーションに関わることが多くなっている。単に疾病に対する治療だけではなく、障害から社会復帰までの知識や技術を身に付けることを目的とする。病院との連携に必要なリハビリテーションに関する知識や用語を理解することを目的とする。					
到達目標					
リハビリテーションの目的は「人間らしく生きるための権利の復権」と言える。そのためには、医学的、教育的、職業的、社会的な分野に分けている。その中で特に医学的リハビリテーションを扱うが、リハビリテーションの全体の関連性を把握して学ぶことが重要である。従って、前期はリハビリテーションの理念、リハビリテーション医学の理念と方法を中心に授業を進める。					
教育方法等					
授業概要	講義方式で行う。黒板に授業の要点を板書をするので、板書したことに加えて、講義を聴きながら自分なりに説明等を加えてノートをとるようにすること。授業後ノートをみて復習うこと。また、授業の終わりに、次回の講義で扱う教科書のページおよび内容を伝えるので教科書を読み予習をする。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	期末試験（筆記試験）		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	リハビリテーションの理念		リハビリテーションの理念を知りその重要性を理解する		
2回	障害の捉え方、リハビリテーションの分野、地域リハビリテーション		障害の種類を知り、現実の動向と行政の対応などを理解する		
3回	リハビリテーション医療の概念		リハビリテーションの種類を知り、その職域の広さと具体的方法論を理解する		
4回	障害の評価1．機能・形態障害の評価		ICIDH分類を理解することで、リハビリテーションの目的を理解する		
5回	障害の評価2．活動および活動制限、参加および参加の制約の評価		障害の方法をその障害部位に応じて評価する方法を理解する		
6回	障害の評価3．合併症（廃用症候群）の評価、運動麻痺の評価		運動障害に関する評価法を理解する		
7回	障害の評価4．運動年齢テスト、失行失認テスト、心理評価		中枢性疾患や精神疾患に関わる障害の評価方法を理解する		
8回	医学的リハビリテーション1．理学療法（運動療法）		理学療法の手法を学ぶ 主に運動障害に対する方法を理解する		
9回	医学的リハビリテーション2．理学療法（物理療法）		理学療法の手法を学ぶ 主に温熱療法に関する方法を理解する		
10回	医学的リハビリテーション3．作業療法、言語聴覚療法		作業療法、言語療法に関するリハビリテーションの方法を理解する		
11回	医学的リハビリテーション4．言語聴覚療法		嚥下に関する障害に対するリハビリテーションの方法を理解する		
12回	医学的リハビリテーション5．装具療法と義肢		今日のリハビリテーション工学の発展と和えわせて義肢装具に関する知識を理解する		
13回	医学的リハビリテーション6．リハビリテーション看護、ソーシャル		看護師が関わるリハビリテーション、社会的リハビリテーションの実際を理解する		
14回	脳卒中のリハビリテーション（1）		脳卒中患者に対するリハビリテーションを理解する（受傷とその障害）		
15回	脳卒中のリハビリテーション（2）		脳卒中患者に対するリハビリテーションを理解する（具体的方法）		